



問 高齡化が進む農業対策は

答 人と農地プランの立ち上げで

高齡化が進む農業

問 町内に荒れた農地が多く見受けられますが対策は。

答 原因は、高齡化、後継者不足、利便性の悪さ等です。町では、人と農地プランを25年度に立ち上げ、農地の集積、遊休地対策、新規就農者の育成をめざしています。

問 農業後継者の未婚率は。

答 40～60代の未婚率は16・4%です。

問 放棄農地が多くなり、後継者の未婚者も多く、このままでは限界集落になりかねません。対策はありますか。

答 土地改良を進め、企業や就農者の育成をはかり、人と農地プランで活性化を考えます。

以前質問した土塩地区の農地改良は完成しましたか。

答 県の指導が行われていますが、1ヶ所は進展せず、他方は整地されましたが、残土が山積みになっています。

問 今後、県、比企郡市、関係諸機関一体となり問題解消に努めていきますか。

答 人・農地プランで多数の意見を取り入れ、補助金制度等も活用し、今後支援していきます。

農地改良後の状況調査はしていますか。

答 地元の農業委員に依頼しています。

問 安定した農業経営をめざしての町の支援はありますか。

答 町の婚活プロジェクトの進行状況は。

地域の活性化のために、少子化対策が不可欠です。婚活イベントも各所で行われていますか。

問 町の婚活プロジェクトの進行状況は。

答 商工会では検討中。社協では郡内の会議で提案していますが、すぐにできる状況ではありません。

問 町全体の40歳以上の未婚率は。

答 平成22年の国勢調査に寄ると、男性16・5%、女性6・5%です。

ワタミ前の横断歩道について

問 深松線ワタミ前の横断が夜間も多く、暗いので危険ですが事故対策は。

答 横断歩道の設置要望書を出してあるので、早急に対処するよう努力します。

要望

平成25年度の人と農地プランの中で、安定した農業経営の構築、手をつなぐ農業の推進を考慮していただきたいと思います。

町で今後取り組む婚活対策の早期実現をお願いします。



紫藤 昌久 議員



耕作していない農地



北村 徳章 議員

問 町内業者の入札状況は

答 町内業者の受注は年々上昇しています

滑川町の入札状況について

問 入札状況として、町内業者への取り組みは。

答 入札については指名委員会を設置し、規定の基、各課・局の依頼に対し開催し、町長任命に依る委員長に副町長、以下総務政策・建設・環境・産業振興・教育委員会・水道の各課長、局長の7名で構成され、事務は企画調整担当が行っています。

町内登録業者は29社で建設工事14、業務委託3、土木施設3、建物管理3、物品役務7、その他2の32社が登録しています。(重複会社2社)

指名については「滑川町建設工事入札参加資格事務処理要綱」によりA～D級に区分けし、更に「滑川町建設工事請負契約業者選定要綱」による金額も分けています。

例えば町発注8百万円以上2千万円未満の土木工事はC級以上の指名ですが、町内土木業者はC級以上が2社しか無いので、同要項9条の規定に基づき、下位の業者も入れて選定しています。

また、1千万円未満の工事で、難易度が町内業者で十分出来る場合は、町内業者のみの指名をしています。「経営事項審査結果」の評点を

についても、町外業者710点以上のところ、町内業者は450点以上と緩和し、滑川中学校改築の時のように特定JV(特定建設共同企業体)での発注や50万円以下の小規模工事等は、各課・局での発注をしています。

建設課発注の1千万円未満の工事は、町内業者育成の観点から原則、町内業者を指名しています。

教育委員会も殆どが小規模工事ですが、物品も含め町内業者を優遇するよう担当にも伝えていきます。

平成21～23年度の工事受注率は62.3%～64.9%で、

金額の受注率でも28.7%～29.7%であり、全体的な町内業者受注率は、21年度が31.8%、22年度が34.1%、23年度が41.1%と年々上昇しております。

常に法令・要綱・要領を守りながら、可能な限り町内業者の請負を念頭において事務処理をさせて頂きます。

町内の節電について

問 庁舎及び町内公共施設の節電は重要ですが、時と場合に依っては必要に応じた電力使用も必要では。

答 「節電対策推進方針」を定め、節電目標25%の中、22～24年の4～7月の電力量は、22年が11万1千kw、23年が6万9千kw、24年が

7万2千kwと大幅に削減されました。この夏は朝から31度を超え、高湿度状態が続いたので、「必要に応じた電力対応」も理解できます。

他市町村の状況として、埼玉県朝霞市・東京都狛江市・多摩市・大阪府吹田市などは、公共施設を「クールオアシス」とした休憩所・避難所として指定しています。

今後は無理をしない節電も必要と考え、今まで以上に公共施設を活用して頂き、町民コミュニケーションの場としていただく事が町全体の電力消費量削減に繋がるように思いますので、他の自治体の事例を学び、新たな取り組みに繋げたいと思います。



入札イメージ



問 エネルギーの地産地消

答 県と協議し、積極的に推進

エネルギーの地産地消を

問 本年7月から再生可能エネルギーの全量買取制度が施行されました。

2030年原発0%を目標に、再生可能エネルギーへのシフトが加速されると予測されます。

前回の議会定例会で、小規模水力発電を中心にして、議論しましたが、滑川町特有の風土、環境を活かした地産・地消の再生可能エネルギーを産・官・学協力の下に、推進する必要があると考えます。

滑川町周辺は、年間の快晴率、日照時間の長さは日本でトップクラスにあり、遊休農地もたくさんあります。また、国営の森林公園を持ち、間伐材もあり、活用できる再生可能エネルギーの活用が期待されます。

現状での関連企業の動きと今後の方針について、うかがいます。



メガソーラー

答

現在、町内で再生可能エネルギーを活かそうとする企業の動きはありませんが、今後、県と協議する中で、地域にあった次世代エネルギーの研究を推進し、市民ファンドなどができて、遊休農地の活用を考える企業などが出てくれば、積極的に連携していこうと考えています。

オオムラサキの保護・育成を

問 今年6月末に、市野川蛇行河川の草刈をしたと

きに、綺麗なオスのオオムラサキを初めて見つけ、その美しさに感動いたしました。

嵐山町のオオムラサキの生息に詳しい専門家の情報では、市野川蛇行河川の河畔林には、幼虫に必須のエノキが多く、冬場、たくさんのお虫がいることをすでに確認していたとのことでした。

現在、専門家の指導の下に、オオムラサキ繁殖に必要なエノキ、コナラ、クヌギの調査を行い、県土事務所に可能な限り保存するよう要望しています。

「国蝶であり、準絶滅危惧種であるオオムラサキ」の保護・育成について、町の今後の対応についてうかがいます。

答

滑川町北部の森林公園、谷津の里などに、オオムラサキが飛んでいたという情報は町でも把握しており、成長するために必須のエノキなどの樹木を保護し、オオムラサキが生育できる環境づくりをしていきたいと考えています。

また、高橋周辺は駅に近いが、豊かな自然が残されており、キツネノカミソリの群生地でもありますので、大切に保存し、県と良く協議し、多自然型の河川改修や遊歩道などの環境整備を推進していきます。



高橋周辺の林にいたオオムラサキ



上野 廣 議員



森田 泰雄 議員

問 滑川町浄化槽事業(市町村型)とは

答 単独浄化槽と汲み取り便槽の転換整備

問 市町村整備型浄化槽事業について

答 各住宅には、浄化槽の設置がされていますが、単独浄化槽や汲み取り式便槽等が1200程度あり、その整備が今度の事業です。

現在、公共下水道区域と農業集落排水処理区域と、今度実施する浄化槽整備区域について、人口比率はどれ位ですか。

答 公共下水道区域7479人43・7%、農集落型は12223人7・2%、市町村型で8398人49・1%です。

問 市町村型に変更する該当数量はどれ位ですか。

答 転換目標数量は1258基を予定しており、平成37年度までに達成を計画しています。

問 市町村型整備の場合、個人負担はどれ位になりますか。

答 人槽に関係なく国の基準額一割負担となり、他に管理料として、月当たり3000円を納入していただき、保守点検、法定検査、維持管理費その他修繕、消耗品費等全て町が負担いたします。



汚泥ひきぬきイメージ

問 汚泥の汲み取りは、個人負担ですが、汲み取り料金が「10ℓにつき100円」と決定しましたので、汲み取り量が確認できる、計量機器の取り付けを義務つけていただきたいと思いますが。

答 当面の計量については、一軒毎に汲み取り、処理施設に持ち込んで、量の搬入証明書を発行する事になりました。

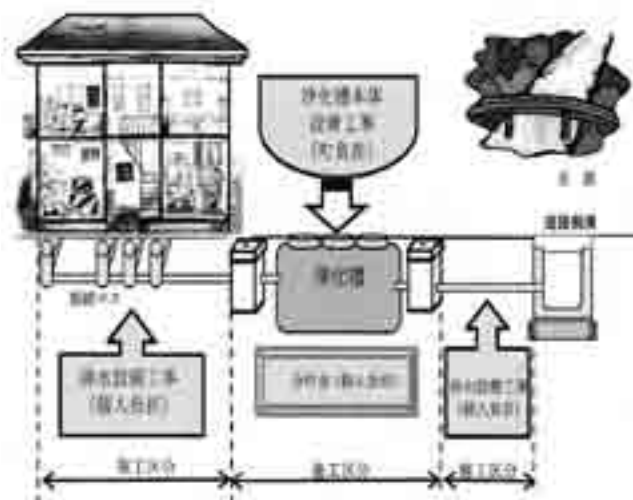
問 市町村型に変更される場合の汲み取り料金は「10ℓにつき100円」の適用はされますか。

答 現在の合併浄化槽については今迄通り現金で、汲み取り便所は、し尿汲み取り券の支払となるので、適用されません。

問 全ての国民は、一人で生活することは出来ません。自助、共助、公助によって生活が成り立っております。

現在、合併浄化槽使用者が747基ありますが、これらは今回の対象外となっております。

答 三助が全て関係してきますので、早急に実施計画を立てていただきたいと思います。検討委員会を立ち上げて早い期間にすすめていきます。



工事イメージ図



問 関越側道の維持管理は

答 今後、整備を検討



高坂 清二 議員

問 関越自動車道の側道について

関越自動車道は、東松山インターまでが昭和50年に開通し、37年が経過しました。さらに前橋インターまでが昭和55年7月に開通したことにより、首都圏が近くなると共に、経済、物流の発展に多大な役割を担っている非常に貴重な高速道路であります。側道を通行してみますと、構造物（特にU字構）や舗装道路も建設当時のままなので、老朽化が進み危険な箇所も多くなっています。

答 側道については平成11年より町の維持管理となりました。特に月輪、水房区長から要望がある高速道路のフェンス内にある高木や草の維持管理については、毎年ネクスコ東日本にお願いと共に対応しています。

側道は関越自動車道のほぼ両側にあり、朝、夕は車の通行も多くなっているために路面状態も悪く、補修している状況です。

問 今後の側道整備計画について。

答 具体的な整備計画はありませんが、都市計画法第34条11号の区域でもあり、今後、住宅開発や戸建住宅が進むものと考えています。今後は、片側だけでも落蓋式のU字構に入替えて、舗装

を打ち替える整備を検討していきます。

問 役場庁舎の職員食堂設置について

事務机で食事を取ることに、職員、市民の反応と食堂の設置の考えは。過去から続いている風習なので職員は違和感はないと思いますが、「町内に転入して来た人が驚いた」という話を聞いています。

庁舎耐震・大規模改修工事の設計時に、食堂についても議論がりましたが、今までも同様に「自席で昼食」ということになりました。

提案をしていただきましたので、機会をとらえ、改めて議論したいと考えています。

要望 町民の声でもありませんので、できる限り早く実現できるようにお願いいたします。



関越自動車道の側道



大山 尚美 議員

問 交通弱者へタクシー券の交付を

答 ふれあいバスを充実させていきます

タクシー券の交付を

問 近年高齢化が進み、運転免許証を返上する方が増えていきます。買い物や病院通い等、非常に不便な生活をされている方へのタクシー券の交付についてうかがいます。

答 ふれあいバスの利便性を高めています。便数も増え停留所も増やしました。ふれあいバスの利用で対応していきます。

問 ふれあいバスは水曜日か金曜日の運行のみです。また、バス停まで遠く



行けない方達への対応は。町でこれから始める地域ささえあいの仕組み事業を利用いただいたり、ふれあいバスの利用状況を見て、改めて検討していきます。

はじめの問題について

問 滋賀県大津市で昨年10月、中学生が自殺した問題をきっかけに「はじめ」は大きな社会問題になっています。そこどうかがいます。

①はじめの実態について把握できますか。
②はじめが発見された際、処方針について教員の研修

や独自の取り組みはありませんか。

③はじめ電話相談の周知などの相談体制は。

はじめ電話相談は、子どもに電話番号記載の紙を配り、中学では生徒手帳に載っています。

答 常にはじめがあると想定して、はじめの総点検を行っています。昨年は中学校で数件ありましたが解決しています。また、早期発見即時対応を行い、職員も多くの研修会に参加しています。

小川日赤の建てかえは

問 小川日赤は築後40年が経ち老朽化が著しく、建てかえの必要性に迫られ、その計画がありますが、総事業費58億円の内10億円の財源不足があり、近隣市町村に財源支援を呼びかけていますが、その実状は。

6月に建てかえの打合せがあり、8月に小川町

より病院設立の重要性と支援の意義等の話がありました。現在、支援参加は13団体、保留5団体、不参加5団体です。

問 建てかえにあたり、第三次救急指定病院、災害拠点病院、また、365日24時間の総合医療の対応や女性専門外来の設立は。

答 第三次救急指定は規模的に無理ですが、災害拠点病院にはするつもりです。その他については今後の打合せで要望して行きます。

子育て支援は

問 子育て家庭の優待制度のパパ・ママ応援ショップが平成24年4月から6県連携が始まりました。住民への周知は。

答 町も広報で周知を図ります。10月号の広報に載せていきます。





問 健康づくり行動計画の進捗は

答 地域で説明会を開始

滑川町健康づくり行動宣言
可決後の進捗状況は

問 行動計画づくりなど、
現在までの状況は

答 いろいろな方面からの
意見を集約し、年度ごと
に予算要望のための分類を
行っています。

また、8月からは、地域で
説明会を開始し、健康づくり
のためのグループ結成をお願
いして、12月まで全町34か所
を回る予定です。

問 町の医療費を削減する
には、高血圧症などの予
防が必要で、生活習慣の見直
しが必要ですが、どのような
方法を考えていますか。

答 汁物などの塩分濃度を
測定する器具を購入し、
貸し出しを行い、自ら、改善
をして頂く方法などを考えて
います。

問 特定検診の受診率を上
げることも重要ですが。

答 県内でもワースト3に
入っています。年に10%
の引き上げを目標に、医療機
関の協力を得ながら行ってい
きます。

問 ラジオ体操が見直され
ていて、庁舎内でも3時
に放送されていますが。

答 3時は休み時間ではな
く仕事の時間と位置づけ
られているので行っていませ
ん。

問 健康づくりも幅広い方
法があるので、ポイント
を絞って成果を出していく考
えは。

答 全町を回った後、町に
あった方法ですすめる考
えです。



上野 憲子 議員



夏の暑さ対策は

問 高齢者の日中の過ごし
方など、どのように行っ
ていますか。

答 広報7月号で、特集し
たり、天気予報で35度を
上まわる日には、防災無線で
注意を呼びかけています。

問 学校などにおける熱中
症対策は。

答 学校では、担当から先
生方に熱中症に対する教
育を行ない、予防を徹底して
います。

問 9月に入っても残暑厳
しい日が続いています。

学校訪問の時に、今後、普
通教室にもエアコンの設置が
必要と感じましたが、近隣の
設置状況は。

答 特別教室は、どの市町
村の学校にも一部の教室
に設置されています。普通教
室に設置している学校は、近
隣では熊谷市と川島町に設置
されています。

問 今後、普通教室に設置
の考えは。

答 気持の上では設置した
いわけですが、財政状況
などを考えますと、もう少し
待っていただきたいと思います。



健康づくり説明会場